

部活動における社会移行について

川西市教育委員会事務局 教育保育課

川西市における部活動とは・・・

- ◎ 中学校に入学すると部活動に参加可能
- ◎ 小学校のクラブ活動との違いは次の3つ
- ① 入部は任意
- ② 平日の放課後や休日に活動
- ③ 小学校のクラブ活動に比べ、総じて活動時間が長い
- ④ 部活動は教育課程外の活動（※クラブ活動は教育課程内の活動）

		16:00	17:00
平日	授業		部活動
休日	部活動 2~3時間	自分の時間	

※休日は大会やコンクールなどで1日活動したり、2日間活動することもあります。

目次

1、部活動の現状

2、部活動の位置づけと意義

3、現状から見える課題

(1) 生徒のアンケートから

(2) 学校現場から

4、川西市が目指す(仮称)『地域クラブ』について

I、部活動の現状(入部率：R4.8/29現在)※3年生含む

種目	川西南中 496		川西中 560		明峰中 425		多田中 559		緑台中 384		清和台中 520		東谷中 833		合計 3777	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
軟式野球	21	4.2	19	3.4	8	1.9	17	3.0	15	3.9	15	2.9	30	3.6	125	3.3
陸上競技	38	7.7	34	6.1	68	16.0	59	10.6	59	15.4	35	6.7	83	10.0	376	10.0
サッカー	30	6.0	41	7.3	23	5.4	26	4.7	26	6.8	×	×	33	4.0	179	4.7
男子テニス	42	8.5	41	7.3	×	×	54	9.7	24	6.3	39	7.5	61	7.3	261	6.9
女子テニス	51	10.3	34	6.1	36	8.5	49	8.8	45	11.7	28	5.4	54	6.5	297	7.9
男子バスケ	33	6.7	18	3.2	×	×	20	3.6	×	×	32	6.2	33	4.0	136	3.6
女子バスケ	22	4.4	23	4.1	19	4.5	21	3.8	×	×	28	5.4	22	2.6	135	3.6
男子バレー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	20	3.8	35	4.2	55	1.5
女子バレー	22	4.4	38	6.8	10	2.4	20	3.6	24	6.3	34	6.5	41	4.9	189	5.0
男子卓球	32	6.5	37	6.6	40	9.4	19	3.4	43	11.2	26	5.0	45	5.4	242	6.4
女子卓球	×	×	20	3.6	28	6.6	29	5.2	×	×	23	4.4	47	5.6	147	3.9
剣道	17	3.4	19	3.4	×	×	13	2.3	×	×	25	4.8	10	1.2	84	2.2
柔道	×	×	13	2.3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	13	0.3
水泳	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	36	4.3	36	1.0
吹奏楽	42	8.5	50	8.9	44	10.4	37	6.6	34	8.9	35	6.7	47	5.6	289	7.7
美術	61	12.3	60	10.7	27	6.4	29	5.2	40	10.4	40	7.7	57	6.8	314	8.3
総合文化	×	×	×	×	×	×	41	7.3	×	×	25	4.8	×	×	66	1.7
コーラス	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	16	1.9	16	0.4
囲碁・将棋	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	13	1.6	13	0.3
部活数	12		14		10		14		9		14		17		90	
総部員数	411		447		303		434		310		405		663		2973	
加入率	82.9%		79.8%		71.3%		77.6%		80.7%		77.9%		79.6%		78.7%	

2、部活動の意義と位置づけ

○部活動の意義とは・・・

- ① 生徒の文化・スポーツに親しむ機会の確保。
- ② 自主的主体的な参加による活動を通じて、責任感・連帯感を涵養、自主性の育成に寄与。
- ③ 人間関係の構築。自己肯定感の向上、問題行動の抑制。
信頼感・一体感の醸成。

スポーツ庁地域スポーツ課「運動部活動の地域移行に関する検討会議の提言について（概要）」（令和4年6月6日付） 一部抜粋

2、部活動の意義と位置づけ

○部活動の位置づけとは・・・

部活動は**学校の教育課程外**の活動である。

(中学校学習指導要領(平成29年3月告示)第1章第5の1のウ 一部抜粋)

中学校における教育課程とは・・・

学習指導要領に基づき、各学校が定める、教科の時間配当や特別活動の内容等に関する**総合的な教育計画**のこと。

【参考】

学習指導要領：全国どこの学校でも一定の水準が保てるよう、**文部科学省**が定めている**カリキュラムの基準**のこと。およそ10年に1度、改訂されている。

2、部活動の意義と位置づけ

○部活動の変遷について

- ・1951年からのクラブ活動は生徒が強制参加されず、生徒主体で運営するような組織であった。
- ・1969年からは、「必修クラブ」と「部活動」が併存した。

➡ 全員顧問制

川西市では、学校に所属する**教職員全員**が、校長の依頼を受けて、**任意にいずれかの部活動の顧問を必ず担う**制度になっている。

表 1-1 部活動の学習指導要領上の位置づけの変遷

改訂年/完全実施年	教育課程内	教育課程外
中：1947/1947 (高：1947/1948) ¹⁾	自由研究 (クラブ活動)	
中・高：1951/1951	クラブ活動	
中：1958/1962 高：1960/1963 ²⁾	クラブ活動	
中：1969/1972 高：1970/1973 ²⁾	必修クラブ	部活動
中：1977/1981 高：1978/1982 ²⁾	必修クラブ	部活動
中：1989/1993 (1990) ³⁾ 高：1989/1994 ²⁾ (1990) ³⁾	必修クラブ	部活動 (代替措置)
中：1998/2002 (2000) ³⁾ 高：1999/2003 ²⁾ (2000) ³⁾		部活動
中：2008/2012 高：2009/2013 ²⁾		部活動
中：2017/2021 高：2018/2022 ²⁾		部活動

注：1)小・中の学習指導要領一般編の補遺として通知された「新制高等学校における教科課程に関する件」の公表・実施年。

2)学年進行で実施。

3)移行措置により、特別活動は完全実施よりも前倒しで実施。

「部活動の社会学 学校の文化・
教師の働き方」内田良編 6

3、現状から見える課題

(1) 生徒へのアンケートから (R5.5月 中学1年生～3年生へ実施)

Q.部活動の外部への移行について、どう思いますか。

① 賛成

② どちらかといえば賛成

③ 反対

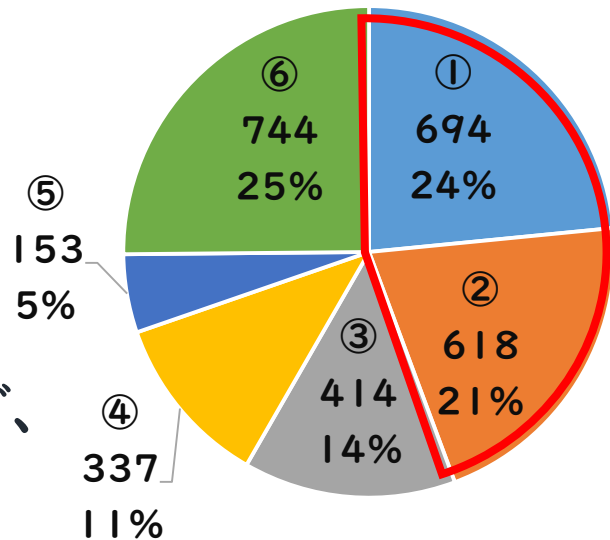
④ どちらかといえば反対

⑤ すでに地域のクラブなどに所属しているので、
直接関係がない

⑥ よくわからない

45%

25%



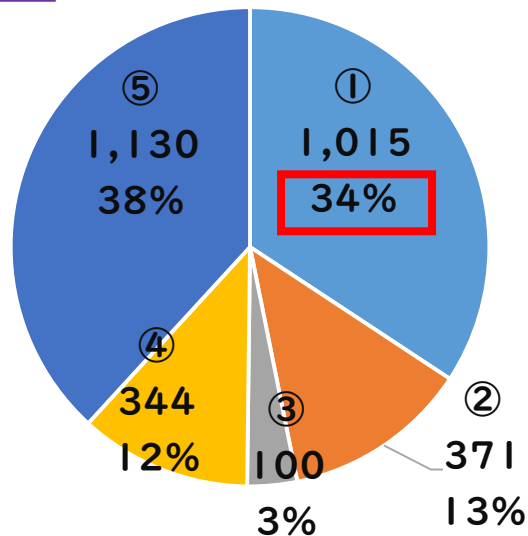
3、現状から見える課題

(1) 生徒へのアンケートから (R5.5月 中学1年生～3年生へ実施)

Q.部活動が外部に移行されることについて、どういうことに期待していますか。

34%

- ① 専門性のある質の高い指導を受けられる
- ② 他中学校からの部員が増え、交流が広がる
- ③ 一つの競技だけでなく、複数の競技を体験することができる
- ④ 自分の時間や予定に合わせて自由に参加できる
- ⑤ 特になし

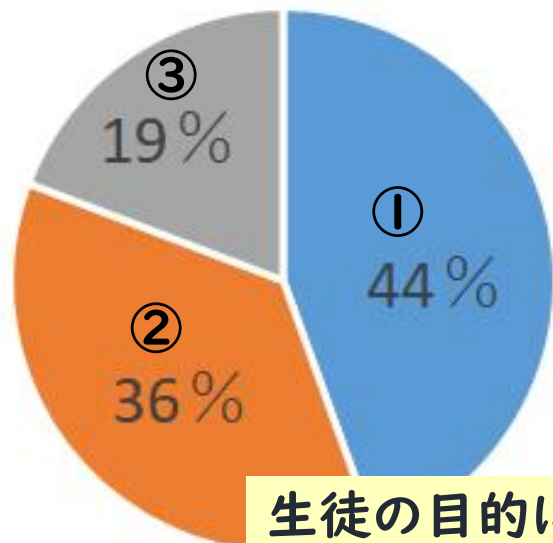


3、現状から見える課題

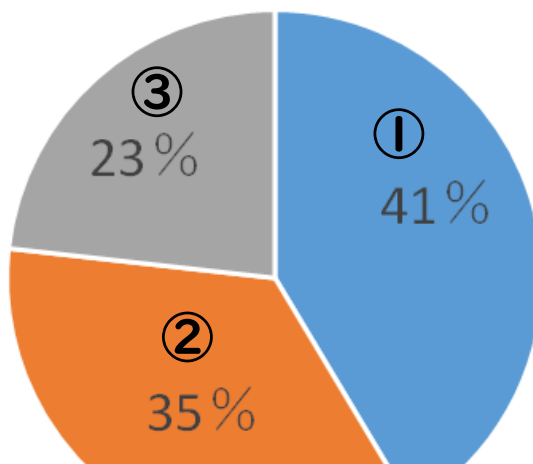
(1) 児童生徒へのアンケートから (R5.10月 小学4年生～中学2年生へ実施)

Q.文化・スポーツ活動について目的を3つに分類した場合、みなさんがしたい活動は次のどれに当てはまりますか。

【小学校4～6年生】



【中学校1～2年生】



- ① みんなで楽しむレクリエーション的な活動
- ② 技術を教えてもらう活動
- ③ 成績や結果を重視した活動

生徒の目的に合わせた活動が必要

(回答数:1,565人 回答率:40.9%) (回答数:1,032人 回答率:42.0%)

3、現状から見える課題

(1) 児童生徒へのアンケートから (R5.10月 小学4年生～中学2年生へ実施)

Q.どのような活動がやってみたいですか(1人3つまで回答可)。

【小学校4～6年生】

● 1位:調理	17.8%
● 2位:ダンス	15.1%
● 2位:バドミントン	15.1%
● 4位:プログラミング	14.1%
5位:バスケットボール	12.4%
6位:サッカー	12.3%
7位:陸上競技	12.1%

【中学校1～2年生】

● 1位:バドミントン	17.1%
● 2位:ダンス	13.0%
3位:ソフトテニス	12.3%
4位:バレーボール	12.1%
● 5位:調理	10.6%
● 6位:弓道	10.5%
7位:卓球	10.3%

(回答数:1,565 **生徒の多様なニーズを確保できていない。** 答率:42.0%)

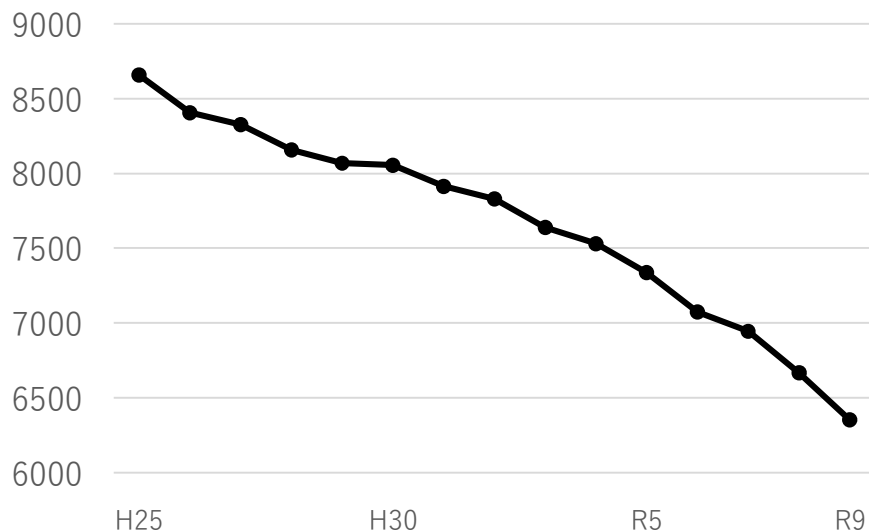


3、現状から見える課題

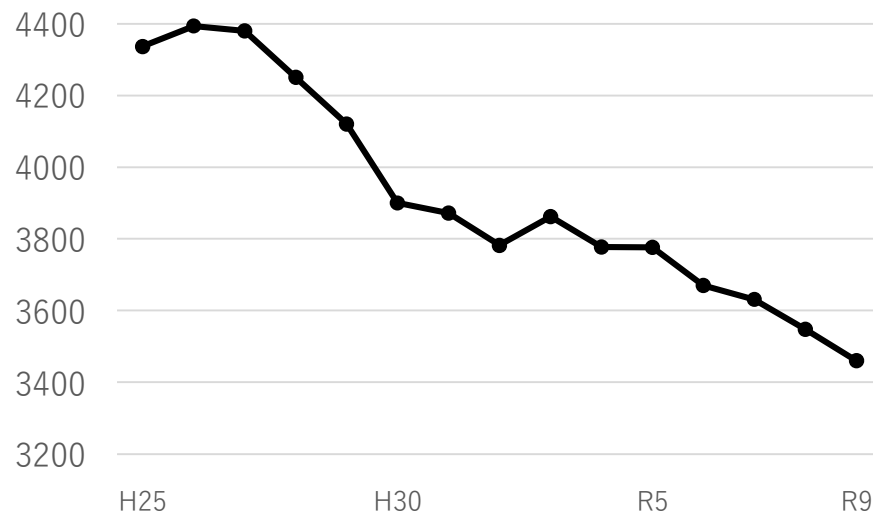
(2) 学校現場から

① 生徒数の減少（学校基本調査（5/1時点）より）

川西市における小学生の推移



川西市における中学生の推移



深刻な少子化による「生徒数が減少」と「部活数の維持」が**相反** ！！

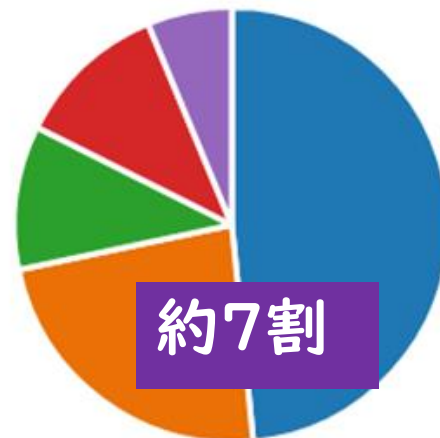
3、現状から見える課題

(2) 学校現場から

②教職員の負担

Q. 部活動の指導にストレスを感じていますか。(n=159)

	人数(人)	割合(%)
● ① 感じている	77	48.4
● ② どちらかといえば感じている	37	23.2
● ③ どちらかといえば感じていない	17	10.7
● ④ 感じていない	18	11.3
● ⑤ どちらとも言えない	10	6.3



ストレスを感じているが約7割を超えている。

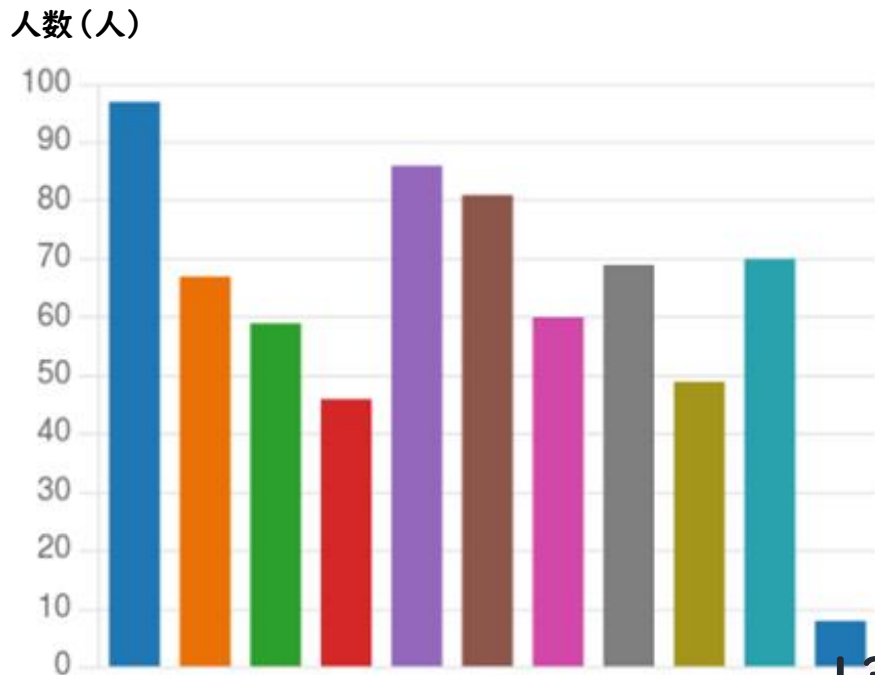
3、現状から見える課題

(2) 学校現場から

②教職員の負担

Q.指導にストレスを感じている理由は何ですか。(n=116) (複数回答可)

	人数(人)	割合(%)
① 休日の出勤	97	83.6
② 長時間労働	67	57.7
③ 専門外の指導、技術指導の…	59	50.9
④ 一部の顧問への負担、顧問…	46	39.7
⑤ 大会引率、大会運営、審判等…	86	74.1
⑥ 家庭への負担、私的時間の…	81	69.8
⑦ 保護者対応	60	51.7
⑧ 手当の額	69	59.5
⑨ 会計等の事務負担	49	42.2
⑩ 授業準備のための時間の減少	70	60.3
その他	8	6.9



4、川西市が目指す「(仮称)地域クラブ」について

(1) 基本方針

1. 子どもたちが主体的に選択し、一人一人に応じた多様な参加ができる。
2. 子どもたちがより専門的で安全な活動を体験することができる。
3. 中学生としてだけでなく、生涯スポーツ・生涯学習の一環として、持続可能な体験ができる。



子どもたちの活動を支援する団体を広く募集する (登録)

4、川西市が目指す「(仮称)地域クラブ」について

(2) 登録手順

① 相談・協議

② 書類提出

③ ヒアリング

(仮称)「地域クラブ」選考委員会が確認

(仮称)「地域クラブ」選考委員会とは、参加する生徒の所属校の学校運営協議会及び市教育委員会職員・専門職等を加えたメンバーで構成

4、川西市が目指す「(仮称)地域クラブ」について

(3) 令和8年度までのスケジュール(イメージ)

	令和5	令和6	令和7	令和8
該 当 学 年	小 4	小 5	小 6	中 1
	小 5	小 6	中 1	中 2
	小 6	中 1	中 2	中 3
実 施 内 容	受託団体の登録(HP、広報、チラシ配布等)			
				受け手のない部活を順次廃部
	地域クラブの在り方を検討(学校ごとの連携・協議)		全員顧問制の廃止	
	先行実施できる地域クラブは順次移行		地域クラブ完全移行開始	

4、川西市が目指す「(仮称)地域クラブ」について

(4) 民間企業等との連携

① ゴルフ



参加者: 25名

回数: 週3回/月4回

期間: 10月・11月

② プログラミング

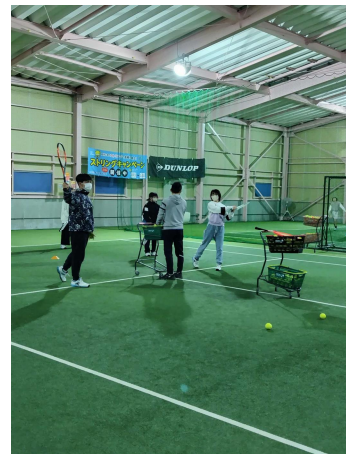


参加者: 9名 (明峰中のみ)

回数: 週1回/月3回

期間: 11月・12月・1月

③ 硬式テニス



参加者: 20名 (猪名川町含む)

回数: 週3回/月4回

期間: 12月・1月



今後、ダンス協会や弓道協会とも連携予定